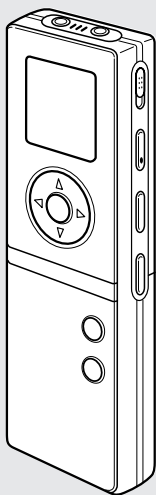
デジタルボイスレコーダー

形名 **PA-VR10 PC**

取扱説明書

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ご使用の前に「安全にお使いいただくために」を必ずお読みください。
この取扱説明書は、お客様ご相談窓口のご案内とともに、いつでも見ることができる場所に必ず保存してください。

安全にお使いいただくために

この取扱説明書は、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

人が死亡または重傷を負うおそれが高い内容を示しています。

注 意

人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

図記号の意味

この記号は**気をつける必要があることを表しています。**

この記号は**してはいけないことを表しています。**

本製品について

自動車やバイク、自転車などの運転中は、**イヤホンを絶対に使わない、デジタルボイスレコーダーの操作をしない**
交通事故の原因となります。

歩行中は、**周囲の音が聞こえなくなるほど、音量を上げすぎない**（特に、踏切や横断歩道などでは、十分に気をつけてください。）交通事故の原因となります。

製品を分解・改造しない
火災・感電・けがの原因となります。

風呂場や雨にあたる所、湿気の多い所では使用しない
火災・事故・故障の原因となります。

注意

本製品について

極端に寒い所や火気の近くに置かない
火災・事故の原因となることがあります。

直射日光が長時間あたる所(特に密閉した自動車内)や、暖房器具の近くに置かない
製品が変形・変色し、火災・事故の原因となることがあります。

不安定な所に置かない
落ちたりして、けがや故障の原因となることがあります。

油煙や湯気が当たるような所に置かない
火災・事故の原因となることがあります。

ホコリの多い所、海辺や砂地など内部に砂の入りやすい所で使用しない
発火・故障の原因となることがあります。

ズボンなどの後ろのポケットに入れて座ったり、満員電車などで製品に大きな力が加わるような所に入れない
製品の変形・故障の原因となることがあります。

音量を上げすぎない
イヤホンで聞くときに耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力障害を起こすことがあります。十分にご注意ください。
また、突然大きな音がでて耳を痛めることがありますので音量は徐々に上げるようにご注意ください。

磁気カードなどをスピーカー部分に近づけない
スピーカーは磁石を使っていますので、クレジットカードや磁気定期券、ビデオテープなどを製品に近づけないでください。磁気データが消えて使えなくなることがあります。

電磁波の強い場所や機器の近くでは使用しない
高圧線や携帯電話など、電磁波の強い場所や機器の近くで録音すると雑音が入りますので使用しないでください。

注意

乾電池について

● 電池は誤った使いかたをすると、破裂や発火の原因となることがあります。また、液もれして機器を腐食させたり、手や衣服などを汚す原因となることがあります。
以下のことをお守りください。
- ●プラス“+”とマイナス“ー”の向きを表示どおり正しく入れる。
- ●種類の違うものや新しいものと古いものを混ぜて使用しない。
- ●使えなくなった電池を機器の中に放置しない。
- ●もれた液が目に入ったときはきれいな水で洗い流し、すぐに医師の診断を受ける。障害をおこす恐れがあります。
- ●もれた液が体や衣服についたときは、すぐに水でよく洗い流す。
- ●水や火の中に入れたり、分解したり、端子をショートさせたりしない。
- ●充電池は使用しない。
- ●長期間使用しないときは、液もれ防止のため電池を取り外す。

記憶内容保存のお願い

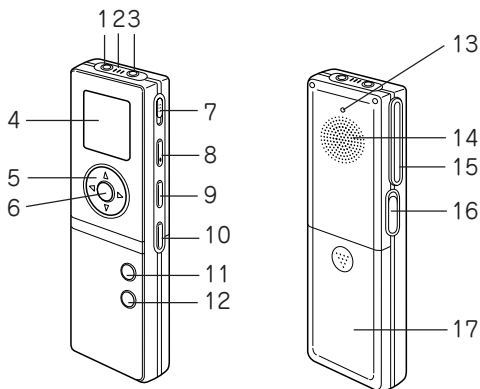
この製品は使用誤りや静電気・電気的ノイズの影響を受けたとき、また、故障・修理のときや電池交換の方法を誤ったときは、お客様が記憶させた内容が変化・消失する場合があります。**重要な内容は必ず紙などに控えておいてください。**

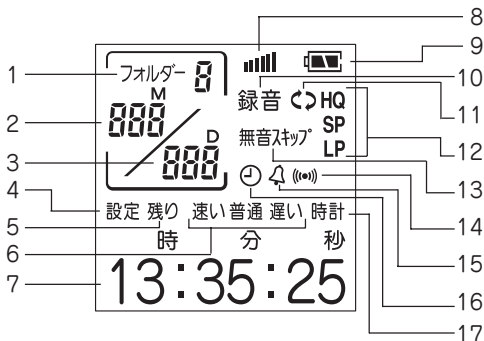
ご注意

- この製品は厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一故障または不具合がありましたら、お買いあげの販売店またはもよりのシャープお客様ご相談窓口までご連絡ください。
- お客様または第三者がこの製品および付属品の使用誤り、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく変更することがあります。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って、正しい取り扱いをしてください。

もくじ

各部のなまえ

1. マイク端子（47ページ）
2. 内蔵マイク（19ページ）
3. イヤホン端子（30ページ）
4. 表示部（8ページ）
5. カーソルボタン
   ▲（音量+）、▼（音量-）、◀（スキップ／サーチ ⏮）、
   ▶（スキップ／サーチ ⏭）
6. OKボタン
7. ホールドスイッチ（39ページ）
8. 録音/一時停止ボタン（22ページ）
9. フォルダー/リピートボタン（22ページ）
10. 消去ボタン（31ページ）
11. 再生/一時停止ボタン（25ページ）
12. 停止/メニューボタン（13ページ）
13. リセットスイッチ（10ページ）
14. スピーカー（30ページ）
15. クリップ
16. USB端子（41ページ）
17. 電池ぶた（10ページ）

表示部について

1. **フォルダー番号**：録音データを保存するフォルダーを表します。(22ページ)
2. **日付/ファイル番号**： 日付の月表示/録音した音声を1件ごとに表します。(22ページ)
3. **日付/イベントマーキング番号**： 日付の日表示/聞きたい位置に付けた番号を表します。(24ページ)
4. **設定モード**： 各種の設定を行うとき点灯します。(13ページ)
5. **残り時間**： 録音可能な残り時間やタイマーの残り時間を表します。(22ページ)
6. **再生速度**：再生の速さを表します。(25ページ)
7. **設定/再生時間など**： 設定の項目や再生時間などを表します。(12ページ)
8. **音量**：音量を表します。(25ページ)
9. **電池残量**：電池の消耗状態を表します。(50ページ)
10. **録音**：録音中のとき点灯します。(22ページ)
11. **リピート再生**： 繰り返し再生中であることを表します。(26ページ)

12. **録音モード**：録音の品位を表します。（18ページ）
13. **無音スキップ録音**：無音スキップ録音モードのとき点灯します。（20ページ）
14. **メッセージアラーム機能**：アラーム設定中であることを表します。（35ページ）
15. **タイマー機能**：タイマー設定中であることを表します。（38ページ）
16. **録音予約機能**：録音予約中であることを表します。（34ページ）
17. **時計モード**：時計モードのとき点灯します。（12ページ）

表示画面について

●本書に記載されている画面例は、実際の製品で表示される画面と異なる場合があります。

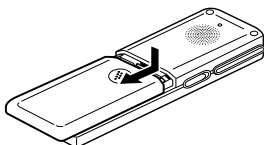
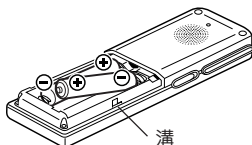
箱の中身を確かめる

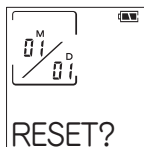
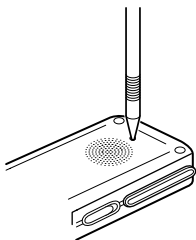
- □ デジタルボイスレコーダー本体 ……………… 1台
- □ イヤホン ………………………………………… 1個
- □ アルカリ乾電池　単4形 ………………………… 2本
- □ テレホンアダプター …………………………… 1個
- □ PCリンクケーブル……………………………… 1本
- □ CD-ROM ………………………………………… 1枚
- □ 操作ガイド ……………………………………… 1部
- □ 取扱説明書 ……………………………………… 1部
- □ お客様ご相談窓口のご案内 …………………… 1部

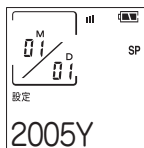
初めてお使いになるときは

まず、乾電池を入れ、リセット(初期化)により製品の状態を一定に整えてからお使いください。

電池を入れ、本体をリセット(初期化)する

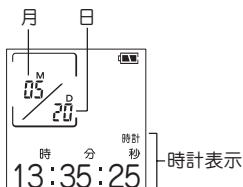
1 **電池ぶたを図のように外します。**

2 **同梱されている乾電池を入れます。**
向きをまちがえないように入れてください。

3 **電池ぶたを本体の溝にあわせてから、もとどおり取り付けます。**

4 **ボールペンなどで、本体裏側のリセットスイッチを押します。**
画面に「RESET?」と表示されます。
・ リセットスイッチの操作に、先の折れやすいものや先のとがったものは使用しないでください。

5 **OKボタンを押し、画面に「OK?」と表示されたら、もう一度OKボタンを押します。**

画面にしばらく「RESET…」と表示されたあと、「RESET!」になり、そのあと日付・時刻の設定画面が表示されます。
日付・時刻の設定は、15ページの手順5以降から設定してください。

・もし画面が表示されないときは、もう一度リセットスイッチを押してください。それでも画面が表示されないときは、手順1～5の方法で電池を入れ直してみてください。

画面について

時計モード画面

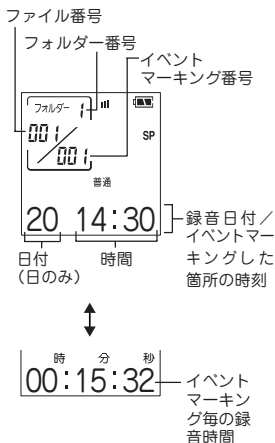
この製品は、約30秒間停止状態になると時計表示になります。**使用するときは、OK、再生/一時停止、カーソルボタン(▲、▼、◀、▶)のいずれかのボタンを押してください。**

下記のスタンバイモード画面になります。

※録音/一時停止ボタンを押すとスタンバイ画面にならず、すぐに録音が始まります。実際に録音が開始されるまでに数秒を要する場合があります。このときは「WAIT…」と表示されます。

スタンバイモード画面

フォルダー番号、ファイル番号と録音日付／イベントマーキングした箇所の時刻を表示します。(タイムスタンプ機能)

OKボタンを押すと、イベントマーキングごとの録音時間表示に切り替わります。

OKボタンを押すごとに交互に切り替わります。

設定メニューについて

この製品はメニューを使って録音の設定やアラーム機能を使うことができます。録音の設定をするにはメニュー画面に表示される各機能の設定項目から選んで行ってください。（次ページの、メニューの一覧を参照してください）

1 **停止/メニューボタンを1回または2回押して、メニュー画面(「SET」と表示される画面)を表示させます。**

2 **カーソルボタン▲(+)または▼(-)を押して機能を選び、OKボタンを押すと選んだ機能の設定画面が表示されます。**

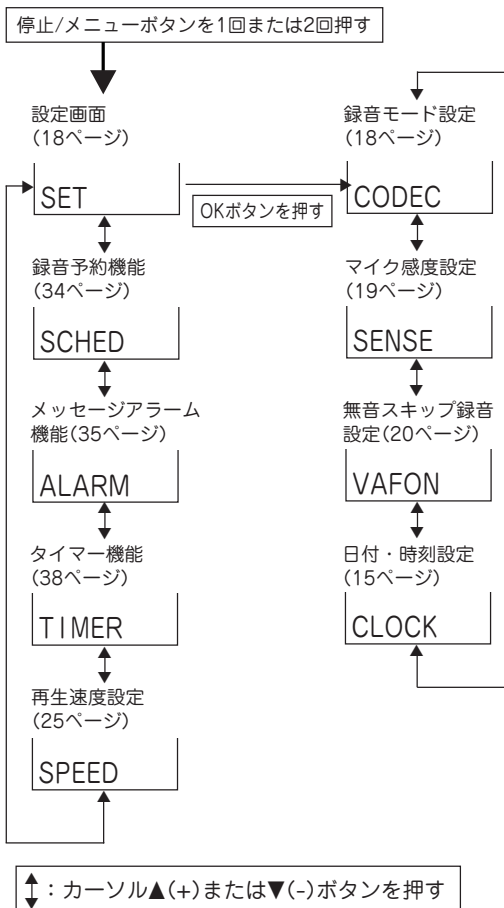
・「SET」の中には4つの設定項目があります。カーソルボタンでそれぞれを選んでOKボタンを押してください。

3 **設定を変更するには、カーソルボタン▲(+)または▼(-)を押して希望の設定値を選び、OKボタンを押すと確定します。**

※詳細は各設定のページをご覧ください。

4 **設定が終わったら、停止/メニューボタンを押すと、もとの画面に戻ります。**

● メニューの一覧

↕:カーソル▲(+)または▼(-)ボタンを押す

日付・時刻を合わせる(時計設定)

ご購入後初めてお使いになるときや、電池を交換したときは、必ず日付と時刻を設定してください。

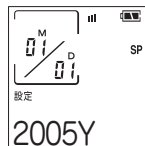
1 **停止/メニューボタンを1回または2回押して、右のメニュー画面を表示させます。**

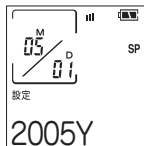
設定
SET

2 **OKボタンを押します。**
設定モード画面が表示されます。

3 **「CLOCK」(時刻設定)の画面が表示されるまで、カーソルボタン▲(+)または▼(-)を押します。**

設定
CLOCK

4 **OKボタンを押します。**
「年」表示が点滅します。

5 **カーソルボタン▲(+)または▼(-)を押し「年」を選びます。**
(2000～2099年まで設定できます。)

6 **OKボタンを押して、年表示を決定します。**
次に「月」表示が点滅します。

7 **カーソルボタン▲(+)または▼(-)を押し「月」を選びます。**

8 **OKボタンを押して、月表示を決定します。**
次に「日」表示が点滅します。

9 **カーソルボタン▲(+)または▼(-)を押し「日」を選びます。**

10 **OKボタンを押して、日表示を決定します。**
以下同じように、「時」「分」の順に決定します。

11 **「分」を決定したあと、時報などに合わせOKボタンを押します。**

日付と時刻の設定を完了し、メニュー画面に戻ります。

・30秒以上操作を行わないと時計モード画面に戻ります。時報で正確に秒設定を行う場合は、設定したい時刻の直前までカーソルボタン▲(+)または▼(-)を交互に押して、操作が30秒以上中断しないようにすると秒設定も正確に行えます。

12 **停止／メニューボタンを押します。**

メモ

・カーソルボタン ◀ (I◀◀) を押すと前の項目に戻すことができます。

各種設定

ここでは、各機能を使用するために必要な設定の方法を説明します。

	画面表示
録音モード設定	「CODEC」
マイク感度設定	「SENSE」
無音スキップ録音設定	「VAFON」
日付・時刻設定	「CLOCK」

録音モード設定

録音モードを、HQ(高音質録音)、SP(標準録音)、LP(長時間録音)から選びます。

1 **停止/メニューボタンを1回または2回押して、メニュー画面を表示させます。**

設定
SET

2 **OKボタンを押します。**
設定モード画面が表示されます。

3 **「CODEC」(録音モード設定)の画面が表示されるまで、カーソルボタン▲(+)または▼(-)を押し、そしてOKボタンを押します。**
録音モード設定画面が表示されます。

カーソルボタン▲(+)または▼(-)を押すごとに、下のように表示が切り替わります。
「HQ」←→「SP」←→「LP」←→「HQ」・・・

録音モードと録音時間について

HQ（高音質）：本製品の中では高音質な録音ができます。	約4時間
SP（標準）：本製品の中では標準的な音質で録音できます。	約8.5時間
LP（長時間）：長時間の録音ができます。ただし音質が落ちて聞きづらくなります。	約28時間

4 録音モードを選び、OKボタンを押します。

マイク感度設定

使用目的に合わせて内蔵マイクの感度を切り替えることができます。

1 停止/メニューボタンを1回または2回押して、メニュー画面を表示させます。

2 OKボタンを押します。
設定モード画面が表示されます。

3 「SENSE」（マイク感度設定）の画面が表示されるまで、カーソルボタン▲（+）または▼（-）を押し、そしてOKボタンを押します。
マイク感度設定画面が表示されます。

カーソルボタン▲（+）または▼（-）を押すごとに、「HIGH」、「LOW」が切り替わります。

「HIGH」：周囲の音も録音できるモードです。
「LOW」：口述録音に適したモードです。

4 マイク感度を選択し、OKボタンを押します。

無音スキップ録音設定

無音スキップ録音(VAFON)とは、録音中に音声が小さくなっている間、自動的に録音を一時停止する機能です。

1 停止/メニューボタンを1回または2回押して、メニュー画面を表示させます。

2 OKボタンを押します。
設定モード画面が表示されます。

3 「VAFON」(無音スキップ録音設定)の画面が表示されるまで、カーソルボタン▲(+)または▼(-)を押し、そしてOKボタンを押します。
無音スキップ録音設定画面が表示されます。

カーソルボタン▲(+)または▼(-)を押して、「ON」または「OFF」を選んでください。
ON ： 無音スキップ録音になります。
OFF： 通常の録音に戻ります。

無音ｽｷｯﾌﾟ
設定
ON

4 OKボタンを押します。

シンボル表示

ご注意

音声によっては言葉の始まりが録音されないことがあります。
このようなときは、この機能を「OFF」にしてください。

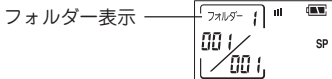
日付・時刻設定

日付・時刻の設定は、15ページの「日付・時刻を合わせる」をご覧ください。

録音する

この製品には録音内容を保存するために、4つのフォルダーがあり、用件を分類して録音することができます。この製品で録音できる時間(19ページ参照)は、すべてのフォルダーの合計であり個々のフォルダーで制限されません。
また1つのフォルダーには127件まで録音することができます。

1 **スタンバイモード画面(時計モード画面のときはOKボタンを押す)で、フォルダー/リピートボタンを押して、録音するフォルダーを選びOKボタンを押します。**

フォルダー/リピートボタンを押すごとに、フォルダー1→フォルダー2→フォルダー3→フォルダー4→フォルダー1･･･、と表示が切り替わります。

2 **録音/一時停止ボタンを押すと、新規のファイル番号がつき「録音」を表示して、録音が始まります。**

3 **録音を停止するときは、停止/メニューボタンを押します。**

録音に関するご注意

・それぞれのフォルダーに対して、127ファイルまで記録することができます。
・録音残り時間がなくなった場合は、「FULL」が表示され録音ができません。不要なファイルを消去してから録音してください。
・録音残り時間がいくらか残っている場合でも、録音ボタンを押すと「FULL」と表示されることがあります。そのときは不要なファイルを消去してください。
・録音/再生時間の表示はあくまで目安です。
・録音中は、乾電池を取り外さないでください。
・市販の外部マイクを接続して録音可能ですが、音質等の保証はいたしません。
・この製品で録音した録音データを、テープレコーダーなどへ保存することはできません。

メモ

・時計モード画面のときも、録音/一時停止ボタンを押して録音を始めることができます。フォルダーや録音に関する設定は、現在の状態で録音されます。実際に録音が開始されるまでに数秒を要する場合がありますので、録音を始めるときは早めに録音/一時停止ボタンを押してください。正確にスタートしたいときは、あらかじめスタンバイモードで録音を始め、一時停止状態にしておき、スタートしたいときに一時停止を解除してください。

録音を一時停止するには

録音中に録音/一時停止ボタンを押すと、「PAUSE」が表示され一時停止状態になります。

録音を再開するときは、もう一度録音/一時停止ボタンを押します。

無音スキップ録音について

無音スキップ録音を「ＯＮ」に設定(20ページ参照)しておくと、音声を感知して音が小さいときには録音を一時停止します。
音声によっては言葉の始まりが録音されないことがあります。
このようなときは、この機能を「OFF」にしてください。

イベントマーキング番号をつける

1つのファイル内で聞きたい位置を探すことができるように、イベントマーキング番号をつけることができます。イベントマーキング番号があると、再生中にカーソルボタン◀(|◀◀)または▶(▶▶|)を操作することで、聞きたい位置から再生できます。

・イベントマーキング番号は1つのファイルに最大で50箇所までつけることができます。

1 **録音中または再生中にOKボタンを押します。**
表示部に新規のイベントマーキング番号が表示されます。イベントマーキング番号をつけた後も録音または再生は続きますので、同様の操作でイベントマーキング番号を続けてつけることができます。

イベントマーキング番号

フォルダー 1
002/003
SP
普通
時 分 秒
00:17:52

再生する

1 **スタンバイモード画面(時計モード画面のときはOK ボタンを押す)で、フォルダー/リピートボタンを押して、希望のフォルダーを選びOKボタンを押します。**

2 **カーソルボタン◀ (|◀◀) または ▶ (▶▶|)を押して、希望のファイル番号を選択します。**

3 **再生/一時停止ボタンを押すと、再生がはじまります。**

4 **音量は、カーソルボタン▲(音量+)または▼(音量-)を押して調節します。**

5 **再生を停止するときは、停止/メニューボタンを押します。**
1つのファイルの再生が終了すると自動的に停止します。

再生を一時停止するには

再生中に、再生/一時停止ボタンを押すと「PAUSE」が点滅し、一時停止状態になります。
再生を再開するときは、もう一度再生/一時停止ボタンを押してください。

再生速度を変えるには

1 **停止/メニューボタンを1回または2回押して、メニュー画面を表示させます。**

2 **「SPEED」(再生速度設定)の画面が表示されるまで、カーソルボタン▲(+)または▼(-)を押し、そしてOKボタンを押します。**

設定画面が表示されます。

設定　普通
NORMAL

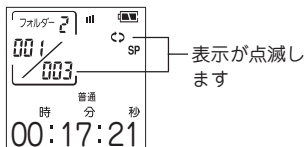
3 **カーソルボタン▲(+)または▼(-)を押して、「FAST」「NORMAL」「SLOW」のいずれかを選んでください。**

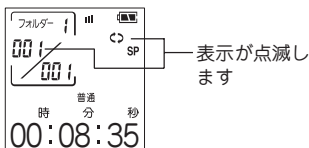
FAST (速い)： 早聞き再生。
NORMAL (普通)：通常再生。
SLOW (遅い)： 遅聞き再生。

4 **OKボタンを押します。**

リピート再生する

イベントマーキングリピート

再生中のイベントマーキング部分を繰り返し再生します。
再生中にフォルダー/リピートボタンを押すと、再生中のイベントマーキング部分が繰り返し再生されます。
イベントマーキングは、24ページの「イベントマーキング番号をつける」をご覧ください。

ファイルリピート

再生中のファイルを繰り返し再生します。
再生中にフォルダー/リピートボタンを約 1 秒以上押すと、再生中のファイルが繰り返し再生されます。

リピート解除

リピート再生中に、フォルダー/リピートボタンを押すと通常再生に戻ります。

スキップ/サーチについて

ファイルスキップ

カーソルボタン ◀ (スキップ／サーチ ⏮) または ▶ (スキップ／サーチ ⏭) を短く押すと、ファイルを前後にスキップします。
イベントマーキング番号を付けている場合は、イベントマーキングを前後にスキップします。

モード状態	スキップ/サーチボタンを押す	この状態になります。
停止中	⏮、⏭	前後のファイル番号を表示します。イベントマーキング番号を付けている場合は前後のイベントマーキングを表示します。
再生中	⏭ (ファイル送り)	次のファイル番号を表示して、初めから再生します。イベントマーキング番号を付けている場合は、次のイベントマーキング番号を表示して初めから再生します。
	⏮ (ファイル戻し)	前のファイル番号を表示して、初めから再生します。イベントマーキング番号を付けている場合は、前のイベントマーキング番号を表示して初めから再生します。

ファイルサーチ

スキップ/サーチボタンを左(|◀◀)または右(▶▶|)に押し続けているあいだ、ファイル内を早送り／早戻しします。
イベントマーキング番号を付けている場合は、イベントマーキング単位で早送り／早戻ししていきます。

モード状態	スキップ/サーチボタンを押しつづける	この状態になります。
再生中	▶▶| (早送り)	再生中のファイルを早送りします。スキップ/サーチ右(▶▶|)ボタンを離すと通常の再生に戻ります。イベントマーキング番号を付けている場合は、再生中のイベントマーキング内を最後まで早送りすると、次は、イベントマーキング単位でスキップします。ファイル内の最後のイベントマーキング番号をスキップすると、次はファイル単位にスキップしていきます。スキップ/サーチ右(▶▶|)ボタンを離すと、その時点のファイル(またはイベントマーキング)の最初から再生します。

モード状態	スキップ/サーチボタンを押しつづける	この状態になります。
再生中	⏮◀ （早戻し）	再生中のファイルを早戻しします。スキップ/サーチ左(⏮◀)ボタンを離すと通常の再生に戻ります。イベントマーキング番号を付けている場合は、再生中のイベントマーキング内の最初まで早戻しすると、次は、イベントマーキング単位でスキップします。ファイル内の最初のイベントマーキング番号をスキップすると、次はファイル単位にスキップしていきます。スキップ/サーチ左(⏮◀)ボタンを離すと、その時点のファイル(またはイベントマーキング)の最初から再生します。

イヤホンで聞くには

イヤホン端子に付属のイヤホンを接続して聞くことができます。イヤホンを接続するとスピーカーから音は出ません。

（ご注意）
- イヤホンで聞くときは音量を上げすぎないでください。聴力障害を起こすことがあります。
- 付属のイヤホン以外は接続しないでください。
- 録音中は、イヤホンやスピーカーで音声を聞くことはできません。

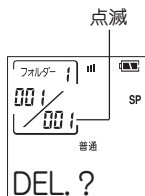
消去する

イベントマーキング番号を消去する

1 **スタンバイモード画面（時計モード画面のときはOK ボタンを押す）で、フォルダー/リピートボタンを押して、フォルダーを選びOKボタンを押します。**

2 **カーソルボタン ◀（I◀◀）または ▶（▶▶I）を押して、希望のファイル番号を選択します。**

3 **カーソルボタン ◀（I◀◀）または ▶（▶▶I）を押して、消去したいイベントマーキング番号を選択します。**

4 **消去ボタンを押します。**
「DEL.?」が表示され、選択したイベントマーキング番号が点滅します。

5 **OKボタンを押します。**
「DELETE!」と表示され、１つのイベントマーキング番号が消去されます。
・ 消去後のイベントマーキング番号は繰り上がります。
※ 消去されるのはイベントマーキング番号のみで録音データ（の一部）を消去することはありません。

再生中に消去するときは

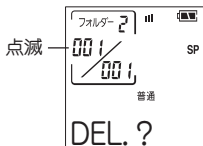
・表示部に消去したいイベントマーキング番号が表

示されている間に、上記の手順4、5の操作をしてください。

ファイルを消去する

1 **スタンバイモード画面（時計モード画面のときはOK ボタンを押す）で、フォルダー/リピートボタンを押して、フォルダーを選びOKボタンを押します。**

2 **カーソルボタン ◀（I◀◀）または ▶（▶▶I）を長押しして、消去したいファイル番号を選択します。**

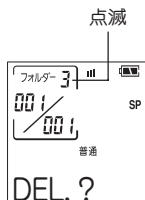
3 **消去ボタンを約 1 秒押します。**
「DEL.?」が表示され、選択したファイルが点滅します。

4 **OKボタンを押します。**
「DELETE!」と表示され、1つのファイルが消去されます。
・ 消去後のファイル番号は繰り上がります。

再生中に消去するときは

・表示部に消去したいファイル番号が表示されている間に、上記の手順3、4の操作をしてください。

フォルダー内の全ファイルを消去する

1 **スタンバイモード画面(時計モード画面のときはOK ボタンを押す)で、フォルダー/リピートボタンを押して、フォルダーを選びOKボタンを押します。**

2 **消去ボタンを約5秒以上押します。**
「DEL.?」が表示され、選択したフォルダー番号が点滅します。

3 **OKボタンを押します。**
「DELETE!」と表示され、フォルダーに含まれていたすべてのファイルが消去されます。

再生中に消去するときは

・上記の手順2、3の操作をしてください。

その他の機能

録音予約機能

開始時間と終了時間を設定すると、設定した時間に自動的に録音を行います。

1 **停止/メニューボタンを1回または2回押して、メニュー画面を表示させます。**

2 **「SCHED」(録音予約機能)の画面が表示されるまで、カーソルボタン▲(+)または▼(-)を押し、そしてOKボタンを押します。**
録音予約設定画面が表示され、開始時刻の「時」が点滅します。

3 **カーソルボタン▲(+)または▼(-)を押し「時」を選びます。**

4 **OKボタンを押して、時表示を決定します。**
次に「分」表示が点滅します。

5 **カーソルボタン▲(+)または▼(-)を押し「分」を選びます。**

設定
時 分
13:30 FR

6 **OKボタンを押して、分表示を決定します。**
次に終了時刻の「時」が点滅しますので、以下同じように、「時」「分」の順に設定します。

設定
時 分
14:30 TO

7 **「分」を決定したあと、OKボタンを押します。**
設定を終了し、メニュー画面に戻ります。

メモ

カーソルボタン ◀ を押すと前の項目に戻り、カーソルボタン ▶ を押すと次の項目に移動します。

- 録音予約では予約設定した時刻より少し早めに録音を開始します。
- 録音モードやマイク感度などは録音開始前の状態で動作します。
- 再生中に設定時刻になると、再生を停止して録音を開始します。
- パソコンと接続中に設定時刻になると、シンボル表示が点滅します。録音はされません。

設定を解除するには

1 **録音予約設定画面を表示させます。**（34ページの手順1、2を参照）

2 **消去ボタンを押します。**
「DEL.?」が表示されます。

3 **OKボタンを押します。**
「DELETE!」と表示され、設定が解除されます。

メッセージアラーム機能

設定した時刻にあらかじめ録音したメッセージを再生したり、アラーム音を鳴らしたりすることができます。アラームは同時に3つまで設定することができます。

メッセージを再生する

1 **停止/メニューボタンを1回または2回押して、メニュー画面を表示させます。**

2 **「ALARM」(メッセージアラーム機能)の画面が表示されるまで、カーソルボタン▲(+)または▼(-)を押し、そしてOKボタンを押します。**

ALARM1画面が表示されます。

・ALARM2またはALARM3を選ぶ場合は、カーソルボタン▲(+)または▼(-)を押します。

設定

ALARM 1

シンボル表示

3 **OKボタンを押して、ALARM設定画面を表示させます。**

4 **カーソルボタン▲(+)または▼(-)を押し、「MSG」(メッセージ)の画面を表示させ、そしてOKボタンを押します**

「RECORD」画面が表示されます。

設定

RECORD

5 **OKボタンを押して録音を開始します。**

(1) 画面表示が、「REC 3, 2, 1」とカウントダウンし「START」表示されたら録音を始めてください。

録音時間は15秒以内です。録音中は残り時間がカウントダウンされていきます。

設定

15

・録音を途中で終了するときは、OKボタンを押します。

(2) 録音終了後、「MSG」表示が点滅して録音メッセージが再生されます。

(3) その後「OK?」の確認画面が表示されます。
・録音が良ければOKボタンを押します。
・録音しなおしたいときは、カーソルボタン▲(+)を押すと手順4の「RECORD」画面に戻ります。

6 **OKボタンを押して、アラーム時刻設定画面を表示させます。**

7 **カーソルボタン▲(+)または▼(-)を押しアラーム開始時刻の「時」を選び、OKボタンを押します。**
次に「分」が点滅しますので、同じように選んでOKボタンを押します。

8 **次にカーソルボタン▲(+)または▼(-)を押し、「ONCE」または「DAILY」を選びOKボタンを押してください。**
(ONCE：1回のみアラーム再生、DAILY：毎日アラーム再生)

メモ

・前に録音したメッセージを使うときは、手順4のあとカーソルボタン▲(+)または▼(-)で「RECALL」を選んでOKボタンを押します。そしてアラーム時刻を設定してください。
・メッセージは、マイク感度“LOW”、録音モード“HQ”で録音されます。変更することはできません。

・再生中に設定時刻になると再生を停止してメッセージアラームが動作します。
・録音中に設定時刻になるとメッセージアラーム表示が点滅します。録音は継続します。
・パソコンと接続中に設定時刻になるとメッセージアラーム表示が点滅します。接続を解除後メッセージアラームが動作します。

アラーム音を鳴らす

アラーム音を鳴らすときは、手順4で「CHIME」を選んで、次にアラーム開始時刻を設定してください。

タイマー機能

タイマー機能は、設定した時間になるとアラーム音が鳴ります。1分から99分まで設定できます。

1 **停止/メニューボタンを1回または2回押して、メニュー画面を表示させます。**

2 **「TIMER」(タイマー機能)の画面が表示されるまで、カーソルボタン▲(+)または▼(-)を押し、そしてOKボタンを押します。**
タイマー時間設定画面が表示されます。

3 **カーソルボタン▲(+)または▼(-)を押しタイマー時間(1〜99分)を選び、OKボタンを押します。**
タイマーを開始します。

・途中で中止する場合は、停止/メニューボタンを押してください。

ホールド機能

ホールドスイッチをホールド側(🔒)にすると、その状態を保ち、他のボタン操作を受けつけません。誤ってボタンが押され動作することを防ぎます。
解除するときはホールドスイッチを解除側(🔓)にしてください。

パソコンに接続する

・デジタルボイスレコーダーの録音データをデータファイルとしてそのままパソコンへ保存したり、再びボイスレコーダーに戻すことができます。

・データ変換ツールを使って、録音データをパソコンで再生可能なWAV(形式)ファイルに変換し、パソコンで録音データを再生することができます。

※ デジタルボイスレコーダーで録音した音声を、パソコンで再生するには、データ変換ツールソフトが必要です。付属のCD-ROMからインストールしてください。

本体をパソコンに接続して使う場合、以下のようなパソコン環境が必要になります。

・パソコンにデータ保存のみする場合

対応機種 ： IBM PC/AT互換機
O S ： Microsoft® Windows® XP Home Edition Microsoft® Windows® XP Professional Microsoft® Windows® 2000 Professional Microsoft® Windows® Millennium Edition Microsoft® Windows® 98/98 Second Edition
USBポート： 本体を接続時にひとつ必要(ver 1.1以降)

・パソコンを使い、録音したデータを再生する場合

前記に加え、下記の環境が必要です。

CPU ：	Intel® Pentium® II 300MHz以上
HDD ：	5MB以上の空き容量 変換前の音声ファイルと、変換後(WAV形式)のファイルを保存するための空き領域が別途必要です。
メモリ：	128MB以上
その他：	サウンドカード・スピーカーなど音楽が聴ける装置、CD-ROMドライブ、マウス、Microsoft® Windows Media® Playerなど

(ご注意)

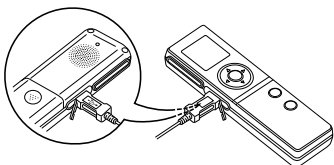
お手持ちのパソコンがWindows 98/98 Second Edition をご使用の場合は、専用のUSB ドライバが必要です。この専用USB ドライバは、付属のCD-ROMからインストールしてください。
インストールの方法は、付属のCD-ROMに収録されているマニュアルをご覧ください。

- マニュアルは、セットアップ画面の「ドライバのインストール方法について」を選んで表示させてください。
- Microsoft、Windows、Windows Mediaは、米国Microsoft Corporation の米国と他の国々における登録商標です。
- Intel、Pentiumは、米国 Intel Corporationの登録商標です。
- その他記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

パソコンに接続する

パソコンと接続するためには付属のPCリンクケーブル(USB(A)オスーUSB(Mini-B)オス)をご使用ください。

1 **本体のUSB端子にPCリンクケーブルの小さい方のコネクタを差し込みます。**

・PC リンクケーブルのコネクタの●⟵⟶印がある面を下に向けて差し込みます。

2 **パソコンのUSBポートに大きい方のコネクタを差し込みます。**

(注意)

・USBコネクタが入りにくいときは無理に差し込まず、コネクタの向きを確認してください。

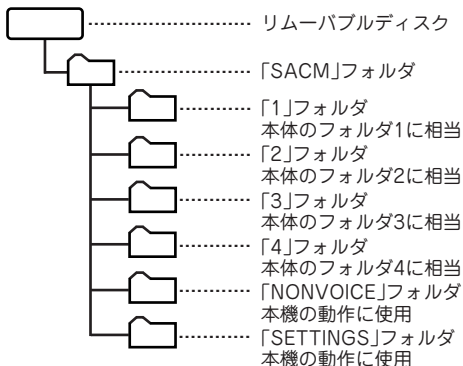
・PCリンクケーブルは、USBハブなどを使わずパソコンに直接接続してください。

・パソコンとの接続は、本体に電池を入れた状態で行ってください。電池が無いと、データが壊れたり誤動作やパソコン上で正しく認識されないことがあります。

・録音中および再生中は、パソコンに接続しないでください。

パソコンに保存する

接続状態とフォルダ構成

本製品は、パソコンに接続すると、Windows 上では、リムーバブルディスクとして見えます。
このディスクの中には、録音した音声が、下記のようなフォルダ構成で保存されています。

録音データのバックアップ

録音した音声は、上記の1 ～4の各フォルダにデータファイルとして記録されます。録音したデータをパソコンに保存するには、1 ～4のフォルダをパソコンの任意のフォルダにドラッグ・アンド・ドロップしてコピーします。コピーの方法は、Windowsのマニュアルなどを参照してください。

録音データの書き戻し

パソコンに保存した録音データを本体に戻して再生するには、パソコンに保存したフォルダをSACM

フォルダにコピーします。
なお、書き戻し先に別の録音データがある場合に上書きされ、データが消えることがあるので、注意してください。

（ご注意）

パソコンと本体を接続してご使用になられる場合は、以下の点に注意してください。

- 本体をパソコンでフォーマットしないでください。正しく録音や再生ができなかったり、録音時間が短くなる、データが壊れるなど誤動作の原因となります。
- 「SACM」以下にフォルダを作ったり、消したり、名前を変更しないでください。
  データが消える/本体の設定が消えるなど誤動作の原因となります。
- 「SACM」以下のフォルダに本機で録音した独自形式の音声ファイル以外のファイルを入れないでください。
  誤動作の原因となります。
- 本体で再生できないフォーマットのファイルを入れ、再生しようとすると本体表示が「？？？」になり再生できません。
- 録音データはフォルダ単位でパソコンに保存/本体に書き戻しをしてください。本体にあるファイルを消したり、誤動作の原因となります。
- 録音ファイルの名前や属性、拡張子を変更しないでください。誤動作の原因となります。
- データの転送中は、PCリンクケーブルが抜けないように注意してください。
  データが壊れたり、誤動作の原因となります。
- 録音中、再生中に本体をパソコンに接続しないでください。

・本体がいっぱいになるまでデータを入れないでください。録音時間が短くなったり、録音できなくなります。
・録音ファイルは、独自形式の音声ファイルです。パソコンのメディアプレーヤーなどで再生するときは、データ変換ツールでWAV形式に変換してください。
・本体の電池が消耗している状態、電池が無い状態でパソコンに接続しないでください。
データが壊れたり誤動作や、パソコン上で正しく認識されないことがあります。

パソコンで再生する

プログラムのインストール

付属のCD-ROMを使って、パソコンにデータ変換ツールをインストールします。

1 **パソコンの電源を入れ、Windowsを起動します。**

2 **パソコンのCD-ROMドライブに、付属のCD-ROMを入れます。**

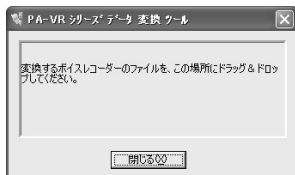
3 **セットアップ画面が表示されますので、「WAV変換ツールのインストール」を選びます。**
プログラムが自動的に起動しない場合は、エクスプローラからCD-ROMを開き、「installer.exe」ファイルを実行し、「WAV変換ツールのインストール」をクリックしてください。

4 **画面の指示に従って操作してください。**

5 **インストールが完了したら、「完了」をクリックしてください。**

録音データを再生する

1 **本体をパソコンに接続します。**

2 **パソコンのデスクトップ画面上にある「データ変換ツール」アイコンをダブルクリックし、下図の画面を表示させます。**

3 **次に、パソコンに保存した録音データの中から、再生したい音声ファイルのアイコンを「データ変換ツール」画面にドラッグ・アンド・ドロップします。**

元の音声ファイルと同じフォルダに、変換されたWAV(形式)ファイルが作成されます。

・変換されたデータは、元のファイル名に録音時のモードが追加され保存されます。
例:「REC_0001.S16」→「REC_0001_SP.wav」

4 **変換されたファイルのアイコンを、ダブルクリックすると、Microsoft® Windows Media® Playerなどの音楽再生ソフトが起動し、音声が再生されます。**

(注意)

・ボイスレコーダー本体のメモリ上の音声ファイルをパソコンのローカルディスク(ハードディスク)にコピーせず、直接、データ変換ツール画面にド

ラッグ・アンド・ドロップしても変換されません。
また、リムーバブルディスク／ネットワーク／CD-ROM上の、音声ファイルを変換することはできません。
いずれも、あらかじめローカルディスク(ハードディスク)上にコピーしてから変換してください。
・WAV形式に変換したファイルには、ボイスレコーダー上でつけたイベントマーキング番号は、含まれません。
・WAV形式に変換したファイルは、ボイスレコーダーで再生することはできません。ボイスレコーダーで再生できるのは、変換元のボイスレコーダー独自形式の音声ファイルのみです。

本体の取り外し方

・パソコンでハードウェアの取り外し手順を行ってから、本体のPCリンクケーブルを抜いてください。
・本体をパソコンから取り外すまで本体は「LINK…」の状態になりますので、PCリンクケーブルを接続したまま録音などはできません。

デジタルボイスレコーダーサポートページ：

・サポートページでは、さまざまな情報を掲載しています。下記URLにアクセスしていただき、ご確認ください。

http://www.sharp.co.jp/support/vr/

電話の通話内容を録音する

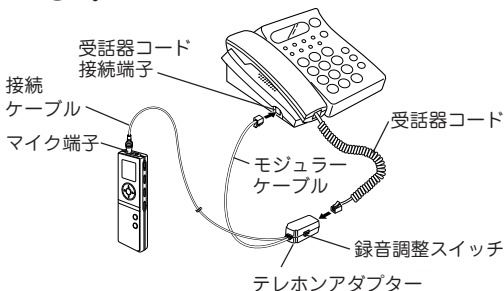
電話での通話内容を、本体に録音することができます。

1 **受話器のコードを電話機本体からはずして、テレホンアダプターに差し込みます。**

2 **テレホンアダプターのモジュラーケーブルを電話機本体の受話器コード接続端子に差し込みます。**

3 **テレホンアダプターの接続ケーブルを本体のマイク端子に差し込みます。**

・デジタルボイスレコーダーのマイク感度を「LOW」に設定してください。（設定は19ページをご覧ください）

4 **本体の録音ボタンを押し、録音を開始してください。**

ご注意

・**通話内容を録音するときは、相手方の了解を得てから録音してください。**

・録音する場合は通話や録音の状態を確認してから録音してください。
・通話内容を録音中にイヤホンで聞くことはできません。

録音調整スイッチ

・テレホンアダプターの録音調整スイッチには4つの調整位置があります。録音調整スイッチは、出荷時に設定された位置でほとんどの電話機に対応できますが、一部の電話機では調整が必要です。その場合は録音調整スイッチを切り換え、録音状態が最適な位置を選択してからご使用ください。
・録音調整スイッチは音量調整はできません。
・調整してもうまく録音できないときは別の電話機でお試しください。

電話の通話内容がうまく録音できないとき

・試し録音して音が小さいときはマイク感度を「HIGH」にしてください(19ページ参照)。
・携帯電話や、コードレスタイプ電話機など、受話器のケーブルがモジュラープラグになっていない電話機では、お使いになれません。
・電話機によっては録音できない場合があります。
・モジュラーケーブルは、カチッと音がするまでしっかり奥に差し込んでください。

上記の方法を行ってもうまく録音できないときは、61ページの(電卓)消費者相談係までお問い合わせください。

ご注意

本体のイヤホン端子に接続ケーブルを差し込んで動作させないでください。

参考にしてほしいこと

電池交換のしかた

電池が消耗すると録音、再生などができなくなります。必ず以降の内容をよくお読みのうえ、電池交換は十分注意して行ってください。

使用している電池

種類	形名	個数
アルカリ乾電池 単4形	LR03	2本

※ 指定している電池以外は使用しないでください。電池容量、電圧が異なるため、誤動作や故障の原因となります。

ご注意

冒頭の「安全にお使いいただくために」もよく読んでお取り扱いください。

- 録音中、録音一時停止中、再生中、消去中に電池を抜くと、録音内容が保存されなかったりすべての録音内容が消えたりする可能性がありますので操作中に電池を抜かないでください。
- 製品を長時間使わないときは電池を取り外しておいてください。
- 消耗した電池をそのままにしておきますと、液もれにより製品を傷めることがあります。
- 付属の電池は工場出荷時に同梱していますので、所定の使用時間に満たないうちに寿命が切れることがあります。

電池の交換時期

画面右上の電池残量表示が [battery icon] になったときは電池が消耗しています。速やかに電池を交換してください。

電池残量レベル

[battery icon]：十分ある

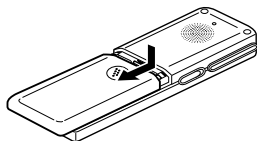
[battery icon]：残り少ない

電池の使用時間について

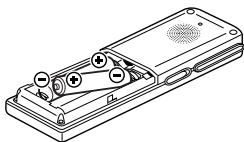
・連続録音時間(LPモード時)･･･約8時間

・連続再生時間(LPモード時)･･･約6時間

電池の交換手順

1 **電池ぶたを矢印の方向に引いて外します。**

2 **消耗した電池を取り出します。**

3 **新しい電池を入れます。**

2本とも新しい電池に交換してください。また向きをまちがえないように入れてください。

4 **電池ぶたをもとどおりに差して取り付けます。**
画面に日付・時刻設定画面が表示されます。
設定する場合は、15ページの手順5以降の説明に従って時刻を正しく設定してください。

異常が発生したときの処理

ご使用中に強度の外来ノイズや強いショックを受けた場合など、ごくまれにすべてのボタンが働かなくなるなどの異常が発生することがあります。このときは、以下のリセット操作をしてください。

リセット操作

1 **本体裏側のリセットスイッチをボールペンなどで押します。**
画面に「RESET?」と表示されます。

2 **停止／メニューボタンを押してください。**
画面に日付・時刻設定画面が表示されます。
設定する場合は、15ページの手順5以降から行ってください。

初期化操作

リセット操作をしても正常に動作しないときは、初期化操作をしてください。

初期化操作は必要なとき以外は行わないでください。全データが消去されます。

※この操作により、すべての録音データが消去され、時計などすべての設定項目は初期の状態に戻ります。

1 **本体裏側のリセットスイッチをボールペンなどで押します。**

画面に「RESET?」と表示されます。

2 **OKボタンを押します。**

画面に「OK?」と表示されますので続けてOKボタンを押してください。

画面に「RESET!」と表示された後、日付・時刻の設定画面が表示されます。

日付・時刻の設定は、15ページの手順5以降から設定してください。

お手入れについて

お手入れは、乾いたやわらかい布で軽くふいてください。

シンナーやベンジンなど、揮発性の液体やぬれた布は使用しないでください。変質したり色がかわったりすることがあります。

故障かな？と思ったら

次のような場合は故障でないことがありますので、修理を依頼される前にもう一度お調べください。それでも具合の悪いときは55ページの「アフターサービスについて」をご覧のうえ修理を依頼してください。

こんなとき	ここをお確かめください
表示部に何も表示されない	・電池が消耗していませんか。 ・電池が正しい向きで取り付けられていますか。 ※上記のどれでもないときはリセット操作をしてください。
ボタンを押しても働かない	・ホールドスイッチが、ホールド側（ ）になっていませんか。
録音できない	・電池が消耗していませんか。 ・「FULL」と表示された場合は、不要なファイルを消去してください。
音声が聞こえない	・イヤホンが接続されていませんか。 ・音量が最小になっていませんか。
録音した音声が小さい	・録音時にマイク感度設定がLOWになっていませんか。感度設定をHIGHにしてください。（19ページ）
録音した時間が実際の録音時間より短い 言葉の話し始めがとぎれる	・無音スキップ録音設定がONになっていませんか。（20ページ） ・時計モードからスタンバイモードに切り替わるために少し時間がかかります。詳しくは23ページを参照ください。
音声が聞きづらい	・録音モード設定がLPになっていませんか。（18ページ）

仕様

形 名	PA-VR10 PC
品 名	デジタルボイスレコーダー
内蔵メモリ	64MB 録音時間 HQモード ： 約4時間 SPモード ： 約8.5時間 LPモード ： 約28時間
入出力端子	イヤホン φ3.5、インピーダンス32Ω マイク φ3.5、インピーダンス2.4kΩ USB端子（Mini-B）
スピーカー	φ23mm
時計精度	平均月差±1分（25℃のとき）
使用温度	0℃～40℃
実用最大出力	70mW
電 源	3V⎓（DC）：アルカリ乾電池 単4形（LR03 ）2 本
電池使用時間	約8時間（LPモード連続録音時） 約6時間（LPモード連続再生時） ・音量が出荷状態（初期値）の場合 ※ 使用環境や使用方法などにより変動があります。上記の時間はあくまで目安であり、保証するものではありません。
質 量	約 66 g（電池を含む）
外形寸法	幅 31mm× 奥行 111mm× 厚さ 16.8mm
付属品	アルカリ乾電池 単4形2本、イヤホン、テレホンアダプター、PCリンクケーブル、CD-ROM、取扱説明書、操作ガイド、お客様ご相談窓口のご案内

アフターサービスについて

保証について

1. **この製品には取扱説明書の巻末に保証書がついています。**
   保証書は販売店にて所定事項を記入してお渡しいたしますので、内容をよくお読みのうえ大切に保存してください。
2. **保証期間は、お買いあげの日から1年間です。**
   保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。
3. **保証期間後の修理は…**
   修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

補修用性能部品の保有期間

- 当社はデジタルボイスレコーダーの補修用性能部品を、製品の製造打切後7年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは

1. 異常があるときは使用をやめて、お買いあげの販売店にこの製品を **お持込み** のうえ、修理をお申しつけください。**ご自分での修理はしないでください。**
2. **アフターサービスについてわからないことは･･･**
   お買いあげの販売店、またはもよりのシャープお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

お問い合わせは

この製品についてのご意見、ご質問は、もよりのお客様ご相談窓口へお申しつけください。
付属の「お客様ご相談窓口のご案内」のとおり、全国にお客様ご相談窓口を設けております。

電話の通話内容がうまく録音できないときのお問い合わせは‥

（電卓）消費者相談係

電話　0570−05−0892

- 当ダイヤルは、全国どこからでも一律料金でご利用いただけます。呼出音の前に、ＮＴＴより通話料金の目安をお知らせいたします。

  （注）携帯電話・ＰＨＳからは、下記の番号をご利用ください。

  一般電話　（0743）55−0892

● 製品についてのお問い合わせは・・

お客様相談センター	東日本相談室	TEL **043-299-8021** FAX **043-299-8280**
	西日本相談室	TEL **06-6794-8021** FAX **06-6792-5993**

《受付時間》 月曜～土曜 ： 午前9 時～午後6 時
日曜・祝日 ： 午前10 時～午後5 時（年末年始を除く）

● 修理のご相談は・・ 製品に付属の『お客様ご相談窓口のご案内』をご参照ください。

● シャープホームページ **http://www.sharp.co.jp/**

シャープ株式会社

本　社 〒545-8522 大阪市阿倍野区長池町22番22号
情報通信事業本部 〒639-1186 奈良県大和郡山市美濃庄町492

PRINTED IN CHINA
05KT (TINSJ0859EHZZ)